

かぼちゃ (ウリ科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	(自家育苗) ×—× ———— ○—○ ———— 収穫：8月下旬～10月上旬 ★定植後のトンネル保温は効果大 ※ハウスの片隅でも育苗できる：は種は定植の30～35日前 収穫適期は着花後40日前後																				

1 栽培管理

①畑の準備

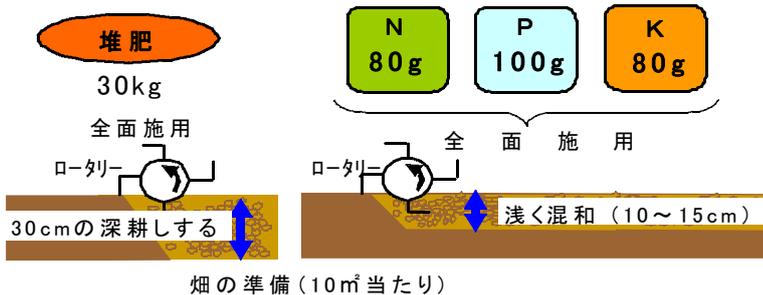


表1 主な品種

品種名	早晩生	一果重kg	果皮色
味平	早	1.7	濃緑
みやこ	早	1.4	濃緑
えびす	早	1.3	濃緑
メルヘン	やや早	1.7	濃緑
こふき	やや早	1.8	黒緑
雪化粧	中	2.3	灰色
プッチーニ	早	0.3	濃黄
坊ちゃん	早	0.5	黒緑

②育苗

- ・種子は寝かせては種します。真水に13時間浸漬後、30℃24時間保温すると種子の一端が軽く開き、この状態では種すると出芽が揃います。発芽温度は25～30℃、10℃以下または40℃以上では発芽しにくくなります。日中18～23℃、夜間10～15℃で管理します。
- ・整地後は軽く鎮圧し、マルチをして地温の上昇をはかります。

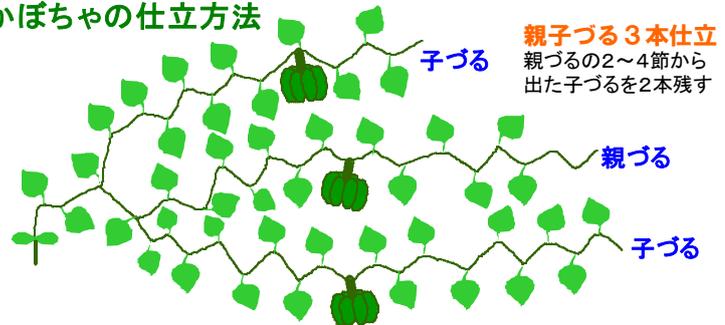
③定植

- ・栽植密度は、畦幅3m×株間60～70cm。定植時の苗の大きさは本葉3.5～4葉の頃です。
- ・定植時の地温(深さ10cm)は15℃以上必要であり、事前にマルチをしておくで地温上昇に役立ちます。定植直後にトンネルをかけて活着とその後の生育促をはかります。

④管理

- ・つるがトンネルから飛び出すまで掛けておきます。ただし、本葉4葉期に15節程度まで花芽の分化が進んでいるので、高温管理を続けていると1番果の落花、充実不良をまねきやすくなるので、トンネル内は30℃以上にならないように換気に努めます。

かぼちゃの仕立方法



※子づる3本仕立は、親づるの2～4節から出た子づるを残す

※1番果の着花時期は訪花昆虫の少ない時期なので、人工交配を行います。交配時間は早朝ほどよく、遅くとも8時までには終わらせましょう。

2 収穫の目安

- ・着花後40日が目安です。収穫期になると果皮が変色し、果梗周辺にコルク状のヒビがしっかり入り、果皮色が品種特有の色に変化したときが適期です。
- ・果梗切断後は切り口からツユが出ない程度に、半日程度直射日光に当てて乾燥します。その後、風通しの良いビニールハウスに着色テント(青)をかけ、切り口が乾いて完全に固化し、治癒する7～10日間程度保管します。処理温度は25℃で、30℃以上にしないようにすることが大切です。湿度は70～85%とします。